

有害プランクトン情報

(令和6年度 - No. 12)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類の死亡や二枚貝の毒化を引き起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 3月 第1回 内湾(8地点) 3/8 内房(7地点) 3/2
- 3月 第2回 内湾(8地点) 3/18 内房(7地点) 3/24
- 貝類漁場内 木更津北部地区、富津地区 3/4 木更津南部地区 3/5
- 木更津北部地区 3/13

東京湾(内湾)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
 - ※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は 100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1,000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。
- 赤潮(透明度 1.5m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 μ g/L 以上) はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 沖合漁場および貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 3/4 (貝類漁場) 富津地区 密度は 0.10 細胞/mL
 - ・ 3/8 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度はアクア北の 0.45 細胞/mL
 - ・ 3/18 (沖合漁場) 船橋を除く内湾全域 最高密度はアクア北の 2.25 細胞/mL
 - 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
 - ・ 3/8 (沖合漁場) 千葉灯標, アクア南, 富津 最高密度はアクア南, 富津の 0.10 細胞/mL
 - ・ 3/18 (沖合漁場) アクア北, アクア南, 盤洲北, 富津 最高密度はアクア北の 0.40 細胞/mL
- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

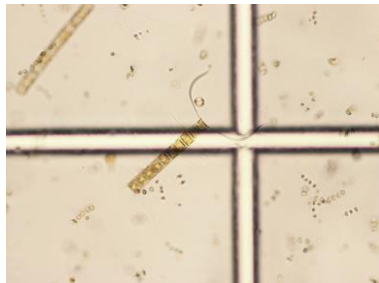
- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。

- ・3/2 (沖合漁場) 大貫 密度は0.05 細胞/mL
 - ・3/24 (沖合漁場) 富津南, 大貫, 浦賀水道, 保田, 富浦 最高密度は富津南の0.65 細胞/mL
- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
- ・3/24 (沖合漁場) 富津南, 大貫, 勝浦沖 密度はいずれも0.05 細胞/mL

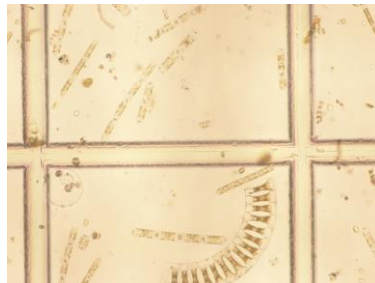
3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。
 (貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

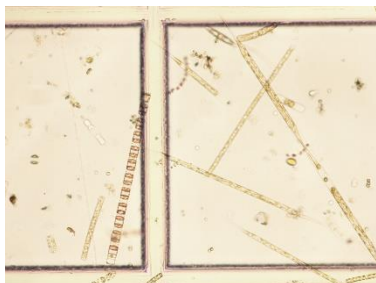
- 3/2 内房海域 珪藻 キートセロス属
- 3/8 内湾 珪藻 レプトシンドロス属, ユーカンピア属, スケルトネマ属など
- 3/18 内湾 珪藻 スケルトネマ属, リゾソレニア属など
- 3/24 内房海域 珪藻 リゾソレニア属など



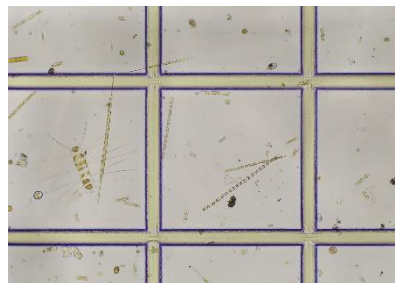
キートセロス属など
(3/2 浦賀水道)



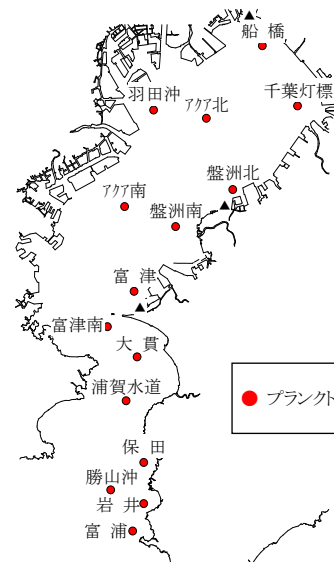
レプトシンドロス属, ユーカンピア属など
(3/8 船橋)



スケルトネマ属, リゾソレニア属など
(3/18 船橋)



リゾソレニア属など
(3/24 富津南)



調査点 (沖合漁場)

連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp